

令和 5 年度 全鍍連経営委員会

「次世代を担う若手経営者のための 先輩経営者による講演会並びに意見交換会」を開催

令和 5 年 10 月 27 日に、全鍍連経営委員会主催の「次世代を担う若手経営者のための先輩経営者による講演会並びに意見交換会」を開催しました。めっき業界における先輩経営者を講師としてお迎えし、次世代のめっき業界を担う若手経営者に対しご講演頂き、講演後ダイレクトに意見交換を行う企画です。

第 13 回目を迎えた今回は、森脇鍍金工業株式会社 代表取締役社長 森脇隆氏（大阪組合）より、約 1 時間にわたりご講演を頂き、参加者との活発な意見交換が行われました。今年度は講演会前に工場見学を行い、その後大阪組合にて講演会を開催しました。全国から 32 名と多くの方が参加されました。



●はじめに～会社紹介～

秋の気配が色濃く感じられる晴天の10月末の吉日、森脇鍍金工業株式会社の工場見学をさせていただき、その後大阪鍍金工業組合に場所を移し講演会を催しました。冒頭、小林専務より会社概要、工場ライン構成、めっきの種類、得意先の業界、売り上げシェア、売り上げの推移等会社紹介をしていただき和やかな集いの中での意見交換会となりました。



森脇鍍金工業(株) 専務 小林正和氏

■講演テーマ「温故知新」



森脇鍍金工業(株) 代表取締役社長 森脇隆氏

●講師経歴

私は鍍金業を営む家の長男に生まれ、父親に「石田武男先生から鍍金について学んでほしい」と常々言われておりました。この業界で活躍しておられる教え子が沢山いる立派な

先生でした。丁度大阪工業大学で教鞭をとられることになられた年に、運よく私も大学に入学でき念願叶い先生から多くを学ぶことができました。

大学時代は助教授や講師の先生がたと登山、ボーリングそして麻雀と遊びの青春でしたが良き思い出になりました。石田先生のご指導の下、卒業論文は、光沢ニッケルめっきの均一電着性。ハルセル試験機と膜厚測定機を学校に持って行き、膜厚測定は蛍光X線に変わりましたが今でもハルセルには少し自信が有ります。

その後父親の会社入り今年で勤続52年になります。

●テーマについて

「温故知新」私はこの言葉が大好きです。

同様に100年ほど前のフランスの賢者は「人は歴史という時間の中を後ろ向きになって進んでゆく、なぜなら目に見えるのは過去＝歴史だけで未来を見る事が出来ないからだと言われています。ですから、私達は過去＝歴史からいろんな事を学び取りながら後ろをむいたまま未来に向かって進んでゆくしかありません。」と言っています。またドイツのビスマルクは「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」と名言を残しています。

先人たちが貴重な経験談を歴史という形で我々後世に残してくれており、これらを学ばない手はありません。

さて私は入社して5～6年は現場で無我夢中で一生懸命働きました。生野産業会青年部会、青研会、日本鍍金協会、大阪府鍍金組合、ロータリークラブ、全鍍連とご指導を頂いたり、影響を受けた人生の恩人や友人は沢山おられま

すが、今日はめっき関係の方々はお聞きになる機会があると思いますので、異業種の方の話をしたいと思います。その中から少しでも皆さんに汲み取って頂き皆さんのこれからの人生の参考になればと思います。

●たこ昌創業者 故 山路昌彦会長

アイディアマンで好奇心旺盛な人。

自分の業種に関係のない話をしていても「それ、なんや、教えて」と何事にも興味を持たれる方でした。

海苔屋の息子さんで何か海苔を売る良い方法は無いかなと思いついたのが、恵方巻でした。

室町時代に有ったらしい風習を復活させて、今では日本中誰もが知っている行事になりました。

そしてたこ焼き販売を始められ、デパートの食料品売り場に横山ノック、後の大阪府知事をゲストに招かれおおいに盛り上がったそうです。その後、たこ焼きの冷凍販売もいち早く始められ、テレビコマーシャルでも大阪人なら誰でも知っている「大阪出るとき連れてって たこ昌のたこ焼き」又、関西空港や伊丹空港行きのリムジンバスの後ろにはたこ昌のコマーシャルが付いています。

研究熱心な山路さんですので、たこ焼きの味、タコの硬さなど納得するまで研究し本当においしいたこ焼きになっています。

私も何度か友人と工場見学やらゴルフにと中国威海に有るたこ昌の工場に寄せて頂いたのですが、食事の時はいつも12人掛けの大きなテーブルを囲みます。そこには中国人の幹部社員や来客等とも一緒に食事をする事も有ります。いろいろな話を聞かせて頂き楽しい交流の場となり大変楽しく有意義な時間でした。

山路さんから「今日の食事会での話が役に立ったと思ったら少しでもいいのでカンパしてほしい。」と言われ皆でカンパしましたら、集まった寄付金をたして役所に車いすを寄贈したり、地元警察署に備品購入に役立ててもらおうよう寄付をし地域の人々にも心配りをされてるんだなと感心致しました。



工場見学後玄関前で～その1

●(株)オオヤマ 代表取締役会長 大山文雄氏

先日久しぶりにお会いしましたが現在89才。昭和9年生まれお元気で若々しいお方です。小学生の時、担任の先生にパイロットになるのを勧められたのがきっかけで戦後その夢を叶えられました。そして30年ほど前には自分の飛行機で2か月ほどかけて世界一周されました。

大学の先生を乗せて魚釣りやゴルフに行くうちに先生から一番成績の良い生徒を会社に回してもらえるようになりました。「企業は人や」と良く大山氏は言われますが、意図したわけではないが、良い人材を得られるのも飛行機のお陰と話しておられました。

ゴルフのハンデもシングルでホールインワン 10 回以上、今でも毎日腹筋 100 回、毎朝 1 時間ほどの散歩は欠かさないそうです。先日も種子島にご自分の飛行機でゴルフに行ってきたと聞いて、人の 10 倍は人生を楽しんでおられると思います。

この人の口癖は「人生全て運」です。

ある日、大山氏と一緒に車に乗っていた時のこと、最近の業績を聞かれあまり良くない時期でしたが正直に話すと「人生全て運や、運の悪い人はなんぼ頑張ってもアカン。運のええ人は放つといってもええ様になる、くよくよしてたら良運も逃がす」と言われ、それを聞いただけで気持ちがホッとしたのを記憶しています。

小さいころから本人に自信を持たせるように周りが「運がいい、運がいい」と言って刷り込んで育てるのも大切だそうです。

私も幼稚園くらいまでは運がいいと思っていましたが、小学校くらいになると自分より運のよい人がいることに気づきました。

大山氏は 89 才の現在まで、ここぞという決断をするときは自分は運がいいと自身を思いこませて選択し、いい結果に至っているとの事です。

また、「自分が幸せになりたかったら、幸せな人のグループに入るとよい。それが一番手っ取り早い。」とも言われました。

松下幸之助が「今日一番運のいい人は運のいい人と出会えた人、一番運の悪い人は運の悪い人と出会った人」と言われていたのを思い出します。

●公認会計士 故 奥田 実氏

この人は日航ジャンボ墜落事故の時、ほとんどの被害者に JAL からは 1000 万円程賠償金が

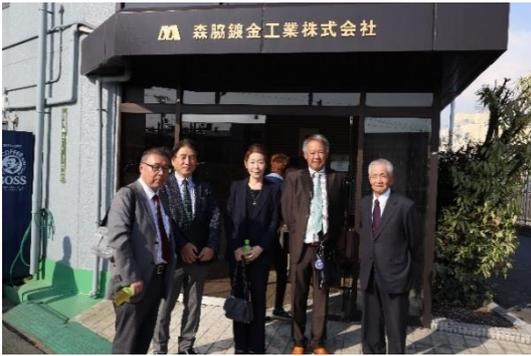
出たらしいのですが、クライアント数人から依頼を受け、英国ロンドンでボーイング社を訴え結局 1 億円以上の賠償金を引き出した辣腕会計士でした。保険会社のロイド社の有るロンドンで裁判を起こしたそうです。

グループでアメリカ旅行に行った時の話。ホテルの部屋に入るとオーシャンサイドのはずが山側でした。それを予約と違う！と奥田氏がホテルに訴え、海側が変わることになりました。既に山側の部屋でスーツケースも広げた人もいましたがそのまま良いからと山側の部屋に荷物を置き、外出しました。その後チェンジした海側の部屋に入るとその時広げた荷物は同じ形で海側の部屋に置いてありました。

夜は夜でリムジンを頼んであったのに実際は普通のセダン。それも話が違う！と最初の予約通りリムジンに変えさせました。アメリカは契約社会だから約束破るのはありえない！と強気の交渉をしてくれたのです。

ある時はロータリーの周年行事のためにグレンミラーのオーケストラを招くことになりましたが、一部の反対に遭い、それが叶わなくなりました。手付金が支払い済みだったので、奥田氏個人がニューオータニの 1000 人以上入るパーティ会場に人を集めて、グレンミラーコンサートを開きました。皆のためにやったことは理解されませんでした、負けずに最後までやり遂げたような人でした。

アメリカ生活が長いので価値観がいい意味で違い、この世の中泣き寝入りは絶対アカンという考え方の人です。人生何事もあきらめずアタックしチャレンジャーになりたいですね。



工場見学後玄関前で～その2

●他にも・・・

他にも松島逸郎氏・宮川治一郎氏、打谷久義氏、生野産業会の大先輩のお話を伺いました。

■意見交換会の主な質疑

Q1. 雇用の件で質問です。若い女性も多くいらっしゃいましたが、採用の仕方、定着率辺りを伺いたいです。

A1. 新卒を欲しいと思っていますが、大卒、工業高校卒は難しいです。ハローワークと仲良くなり、先生や生徒さんが話を聞きたくなる求人票の書き方を教示していただく、指定校には直接担当の教員に持っていきます。高校の先生との交流会には必ず顔を出す、こうしたことで毎年高卒を一人、二人採用できています。定着については難しいですが、中途採用より、新卒の方が良いです。ミスマッチによる退職を減らすために入社前に会社を見てもらったり話を聞いたりしています。

Q2. 経営者、社長になって一番苦勞されたことを教えてください。

A2. 過ぎ去った大変なことは忘れてしまいました。いいことだけ覚えてます。嫌なこと

は特に忘れてしまいます。忘れることができるのは人間の特技でもありますね。

ただ、どんな苦境にぶち当たっても人様から後ろ指を指されないような経営をしようと心がけ、常々社員にも伝えています。



工場見学後玄関前で～その3

Q3. 事業の継続、お金のことでの苦勞は？

A3. 私が20代後半、社長である父親ががんになり、急に社長の仕事も手伝わなくてはいけなくなりました。それまでは家業を自分の仕事と思えず、手伝いくらいに思い父親に頼り切っていたので突然の出来事に腰を抜かしそうになりました。

上手くいかないこと、できないことが多々あり残業して夜2時3時に帰宅し食事していましたら 父親が起きてきて色々と言われたものです。「食事中だから後にしてほしい」と言うとスーッと消えていきました。父親が心配している気持ちは分かりますがゆっくり食事も食べられませんでした。

そんな時、同業・池田伸一さんのご尊父故池田弘様から「親父さんに相談はしなくてよい。報告だけしたらよい、報告だけしたら何も言わなくなるから。それも悪い報告は先にする、その後にこの先について自分が考えている事など父親が安心するようないいことを報告する

と良いと教わり関係性がよくなり信頼してくるようになりました。故池田弘さんに感謝しています。先輩に教えてもらい力になっていただきました。



会場（大阪組合）の様子

■おわりに（事務局より）



経営者だけではなく、誰にでも興味深く聞ける人生の先輩方の貴重なお話ばかりでした。温故知新の言葉を頭の片隅に古い教えや慣習をヒントに今後活かしていけたらと思いました。

幸せなグループの仲間に入ると幸せに近づけるからでしょうか。工場見学では、スタッフのどなたも気持ちよい挨拶と明るい笑顔が印象的でした。

この度、講師を引き受けて頂いた森脇社長、小林専務を始め森脇鍍金工業㈱の皆様にはこの場を借りて心よりお礼を申し上げます。